

高専生による専門英語を用いた理化学実験教室

“International Science Park & Tour in Sasebo-Kosen” using Technical English for Students in Sasebo Naval Base

○柳生 義人¹、西口 廣志¹、石貫 文子¹、中尾 充宏¹ (1. 佐世保高専)○Yoshihito Yagyu¹, Hiroshi Nishiguchi¹, Fumiko Ishinuki¹, Mitsuhiro Nakao¹ (1. NIT, Sasebo Coll.)

E-mail: yyagyu@sasebo.ac.jp

1. はじめに

佐世保高専(以下、本校)では、知識活用力を涵養するために準学士過程 4 年生を対象に知識活用教育(知活)を実施している。知活はコース制となっており、その一つに専門英語による実践的コミュニケーション能力の習得を目標とした「国際技術者コミュニケーションコース」を設けている。高専教育には、高度な工学的知識を身に付けるだけでなく、専門的な技術を英語を使って説明するコミュニケーション能力および対人交渉力＝実践的な英会話能力を身に付けることが求められ、その重要性は大きくなる一方である。本稿では、科学に触れる機会の少ない米海軍佐世保基地内の学校に通う小学生を対象に高専生が専門英語を用いて行った理化学実験教室の取り組み(International Science Park in Sasebo-Kosen)および英語での先端機器や工学実験を介した学校紹介(International Science Tour in Sasebo-Kosen)について報告する。ここでは、紙面の都合上、理化学実験教室について記載する。

2. 本取り組みの方法

小学生の年齢に合わせて体験型の理科学実験を 7 テーマほど準備し、本校学生を 1 テーマあたり 2~4 名割り当てた。安全を配慮した上で出来るだけ少人数の学生を割り当てることで、会話の機会が増えるよう心がけた。本校学生は来校した小学生に対して、担当する実験テーマの概要や実験方法をポスターを使いながらプレゼンし、当日に円滑に説明できるよう事前に知活担当教員(本校教員および外国人講師)による添削やリハーサルを行い完成度を高めた。また、本取り組みの成果についてはアンケートを通じて評価した。

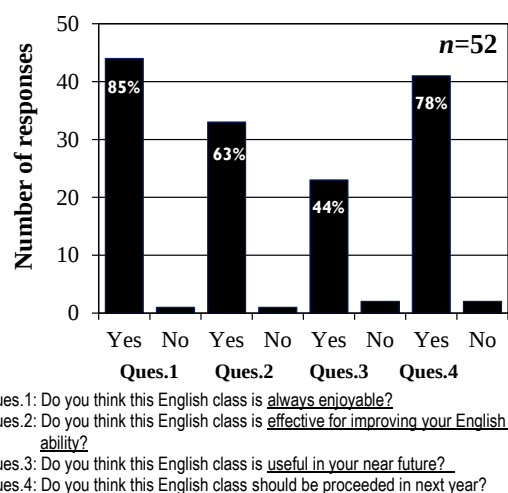


図 1 アンケート結果

3. アンケート結果

本取り組みに参加した本校学生を対象に行ったアンケート結果(図 1)は、知活に対して肯定的な意見が多くを占めていた。また、コメント欄には、英語に対して自信が持てた旨の記載が多くあった。小学生を対象とした理化学実験のため、比較的容易な専門英語ではあるものの、英語で紹介・説明・実演・質疑応答することが、非常に良い経験になったものと思われる。一方、米海軍佐世保基地内の小学生に対しては、身近な科学に触れる機会を提供することができ興味を持って参加してくれたのではないかと思う。積極的に佐世保高専にグローバルを呼び込むことで、実践的な英語力の底上げを目指していきたい。

謝辞 高専生による専門英語を用いた理化学実験の実施にあたり、佐世保高専 須田淳一郎教授、森保仁教授、福田孝之教授、森田英俊准教授、三橋和彦准教授、重松利信教授、志久修教授、手島裕詞准教授、前田貴信講師、越村匡博講師、原久之技術長、山北久枝技能補佐員、外国人講師 J. Stocker 氏、K. Woodfin 氏、C. Hiemstra 氏、T. Rawson 氏、A. Kakehashi 氏の皆様に多大なご協力を頂きました。ここに記し御礼申し上げます。